

平成27年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	公明党
事 業 名	第77回 全国都市問題会議 長野市
事 業 区 分	研究研修 調査

1 上田市での課題と研修・調査の目的

人口減少社会を迎え、産・官・学・民・地域のそれぞれの分野、立場でどのように連携し地域活性化が行われていくか、全国都市問題会議のテーマについて学ぶ。

2 実施概要

実施日時	視察先	長野市 ホクト文化ホール
平成27年10月8日(木)~9日(金) 9:30~17:00、9:30~12:00	担当部局	主催 全国市長会、後藤・安田記念東京都市研究所、 日本都市センター、長野市

報 告 内 容	<p>1. 内容と当日スケジュール</p> <p>10月8日(木) 敬称略：基調講演 世界の山々をめざして 登山家 田部井淳子 主報告 生き生き「ながの」元気な長野 人口減少の克服に向けて オール長野の力を結集 長野市長 加藤久雄</p> <p>一般報告 都市の魅力づくりと交流・定住 人口減少に立ち向かう 連携の地域化戦略 立教大学観光学部兼任講師 観光地域づくりプラットフォーム推進機構会長 清水 慎一 一般報告 地域資源を活かした連携によるまちづくり 愛知県豊田市長 大田稔彦 一般報告 一五輪一会 セーラ・マリ・カミング</p> <p>10月9日(金) パネルディスカッション</p> <p>都市の魅力づくりと交流・定住-人口減少社会に立ち向かう 連携の地域活性化戦略- コーディネーター 一橋大学副学長 辻琢也。パネリスト 両備グループ会長兼 CEO 小嶋光 信、地域再生プランナー 久繁 哲之介、信州大学全学教育機構機関センター教授 橋本純一 岡山県真庭市長 太田昇、愛媛県今治市長 菅 良二</p>
	<p>2. 感想：注目点</p> <p>(1)主報告における加藤長野市長の市政運営(2)長野市及び愛知県豊田市における平成の大合併で拡大した中山間地への支援(3)観光地づくりではない、観光地域づくりによりまち全体を豊かにする(4)様々な連携のあり方</p> <p>3. 上田市に活かす</p> <p>上記(3)観光地域づくりは、観光地のための整備ではない、地域外の方々の交流(交流人口増加、滞在時間の増加、消費金額の増加)から生じる効果=地域の活性化につながる、地域の良さを再発見していく。観光地だけではないその地域全体のまちづくりがよくなるという視点は、大河ドラマ放送後の上田市を見据えるうえで、継続して取り組む内容である。</p> <p>「住んでよし 訪れてよし」と清水氏の言葉は、偶然?にも「住んでよし 訪れてよし 子どもすくすく幸せ実感 うえだ」第2次上田市総合計画の前期基本構想と同じであることに、前期まちづくり計画について今後、確認をしていく必要がある。</p>

(会場内 写真撮影禁止)